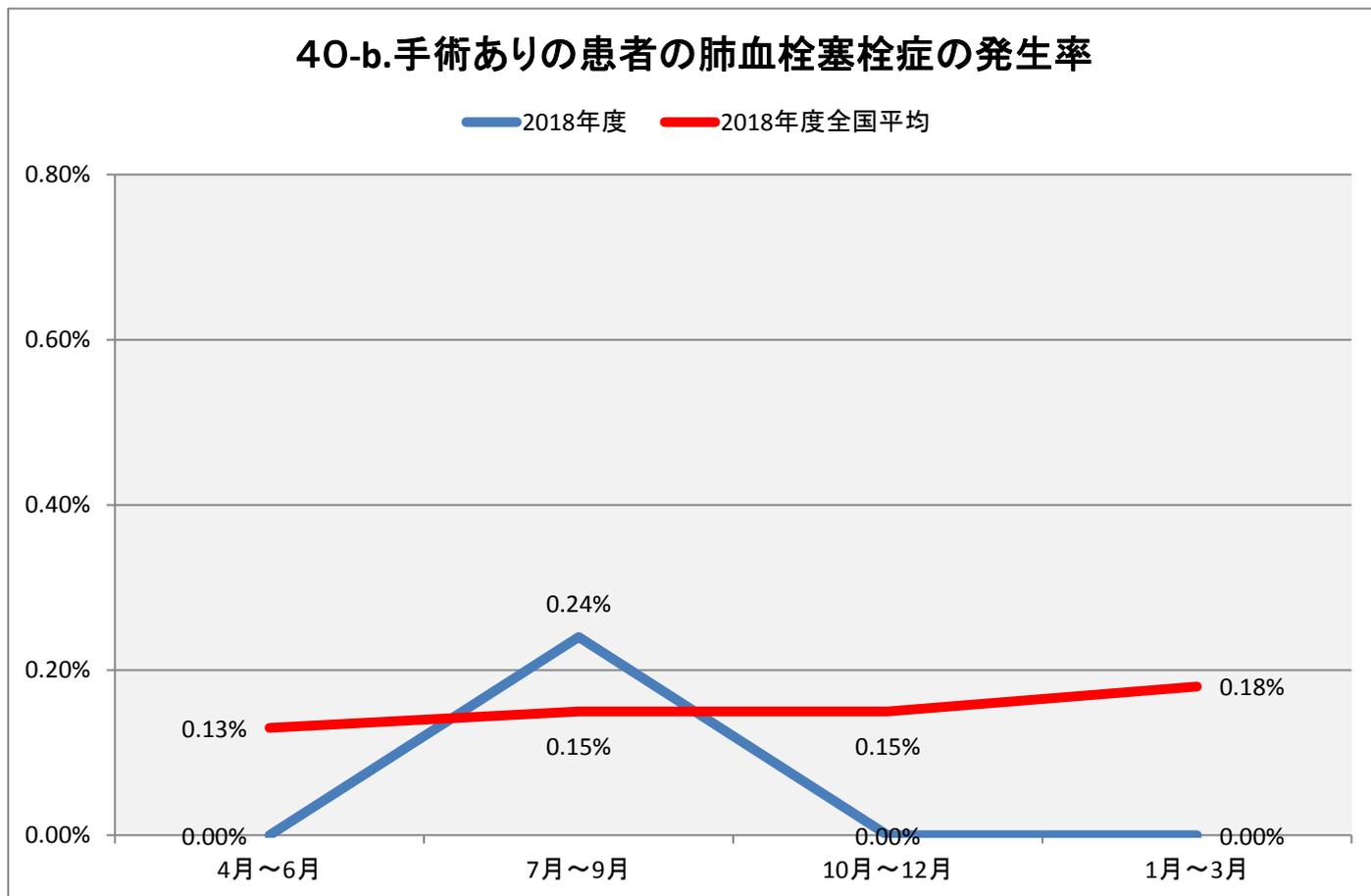


40-b.手術ありの患者の肺血栓塞栓症の発生率

(1)調査結果



調査期間	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
2018年度	0.00%	0.24%	0.00%	0.00%
2018年度全国平均	0.13%	0.15%	0.15%	0.18%

(2)指標の説明

肺血栓塞栓症および深部静脈血栓症の予防方法には、弾性ストッキングの着用や間歇的空気圧迫装置の使用、抗凝固薬療法があり、リスクレベルに応じて単独あるいは併用が推奨されています。周術期の肺血栓塞栓症の予防行為の実施は、急性肺血栓塞栓症の発生率を下げることにつながると考えられています。
2018年度から採用された項目です。

(3)定義

分子:分母のうち肺血栓塞栓症を発症した患者数
分母:肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが「中」以上の手術を施行した退院患者数